



《学校の教育目標》 本年度重点目標：**自分のよさを発揮しながら、すすんで活動する子どもの育成**  
一人一人の可能性を伸ばし、社会の中で明るく、たくましく「生きていく力」を育成する  
○生活していく・働く【つくる力】○ともに生きる【つなぐ力】健康に生きていく【つらぬく力】

【つくる力】

学んだことを**活用し**、生活をつくる  
ことができる子ども (個性の伸長)

【つなぐ力】

自分を知り、他者と**つなぐ**ことができる子ども (社会性・協働性)

【つらぬく力】

**自己調整しながら**、前向きに社会と関わり続けようとする子ども (自立・遂行)

学びをつなぐ授業

- ①久留米特別支援学校〔授業のスタンダード〕チェックリストを活用した授業づくり(毎時間)
  - ②**保護者との合意形成・関係機関との情報共有を図った**個別の教育支援計画・指導計画の活用(学期1回以上)
  - ③教材の提示、動作補助、写真や動画、**オンライン**等における**ICT**を活用した支援(1日1回以上)
- 【成果：取組指標で判断】「授業で毎日一回以上ICTを使っている」教員の自己評価95%以上

笑顔の先生

- ①**専門家・教育財産**を活用した日常的学習指導(毎日2時間以上)
- ②**エビデンスに基づく効果的研修の推進**(毎回)
- ③**目的に応じた人数・時間限定設定とICT活用や事前資料配布等による効果的会議の推進**(毎回)

【指標】学び②と関連：進路の話し合いに対する保護者満足回答前年比増

協働する学校・家庭・地域・関係機関

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③家庭と連携した規範意識向上の取組

楽しい学校

- ①**目的に応じた**担当者、特別支援教育コーディネーター、学部主事、学年主任、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールサポーター、医療及び福祉機関、各学校等との連携強化(月1回)
- ②**児童・生徒自身の伸びを実感する評価の場の保障**によるいじめを生まない環境づくり(毎日1回以上の評価)
- ③**医療的ケアや摂食指導委員会等の確実な開催**による安心・安全な学校体制づくり(月1回以上の開催)
- ④切れ目のない**支援につなぐ学部間交流とめあてや見通しのある余暇活動**及び社会参加の活動づくり(月1回以上)

【成果指標】子どもが学校行事に楽しく参加している95%以上(保護者アンケート)

【体力向上】

- ①**養護教諭や栄養教諭、看護師等と連携・協働**を図りながら健康状態の維持・改善に努める。(毎日)
- ②**体育科の授業で、主活動の時間(20~30分以上)を発達**(小・中・高・単一・重複・訪問)に応じて保障する。(毎回)
- ③**体力アップ推進タイムの「朝の運動」**を継続的に実施する。(ラジオ体操・朝ジョギング・体ほぐしの運動等の実施)「1校1取組運動」(週1回以上)

【あいさつ・そうじや当番・自学自習】

- ①**教師によるスクールバス発着所までの送迎とあいさつ運動の実施**(毎日)
- ②日々の清掃・給食等の**当番活動**を徹底すると共に、毎月末に全校大掃除の時間を設定し評価の実施(月1回)
- ③各学部・学級・個人の実態に応じた個別課題を設定し、成果に関する評価の実施(週1回)

センター的機能の充実

○R-PCDAサイクルに基づく、センター的機能の検証と改善(市内小中アンケート満足評価前年比増)  
○市内小中学校のニーズに応じた実践公開研究会における授業内容の充実、外部研修会への参加促進と還元、最新情報の提供発信の推進(市内公開研参加者満足回答評価前年比増)

基盤として大切にすること(本年度の重点：子ども基本法を踏まえ)

- 【人権・同和教育】自分の大切さと他者の大切さを認める人権感覚を育成し、自尊感情を高めることができるような「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」と**性教育・情報モラル教育・SDGs教育**の実施  
[要綱P~参照]
- 【特別支援教育】**個のよさが発揮できる特色ある教育課程の編成と専門性をいかす指導体制**及び自立活動の指導の研究  
[要綱P~参照]
- 【キャリア教育】小・中・高等部間の連携を図り、12年間を見通した**進路保障・消費者・金融教育カリキュラム**の充実  
[要綱P~参照]